



JWTC NEWSLETTER

Vol.31 No.1 April 2011

第31回 JWTC総会 開催

2011年2月26日(土)、東京ウイメンズプラザにて第31回総会が開催されました。出席者67名(うち委任状32通)会員数の定足数以上により総会成立が報告され、二宮由起子会員の総合司会、三好一美会員の議長によって議事が進行了ました。

① 2010年度活動報告

総務部、広報部、事業部、会員部、名古屋支部より活動報告があった。

また、田辺典子副会長から30周年プロジェクト及び特別勉強会の報告があった。

② 2010年度会計報告

総務部から決算報告に基づいての報告が行われ、拍手により承認された。

③ 2011年度運営委員会役員選出報告と承認

田辺典子副会長から「2011年度運営委員会役員案」が報告され、承認された。

④ 戸井川裕美子会長挨拶

創立30周年記念行事があったため任期がイレギュラーだったが、これからの2年間と合計5年間会長を務めさせていただく。新しい役員のフレッシュな意見を取り入れつつ40周年へ向かっていきたい。適正で動きやすい人数、組織体制等を再度検討していきたい。

今まで副会長が1名で田辺副会長の負担が大きかったが、今年から坂本新副会長が就任するので心強い。

メールが発達した現代であっても直接話すことは大切だと感じている。会員同士も互いに助け合う気持ちを大事に、各



戸井川会長



田辺副会長

集まりで顔と顔を合わせて懇親を深めていってほしい。

⑤ 2011年度活動計画案

総務部：年次総会の運営、毎月の運営委員会の設営、会計関連業務を行っていく。

広報部：ニュースレターの紙面を変更していきたい。会員の仕事について知っていただけるような内容にしたい。ホームページも躍動感のあるものにしていきたい。

事業部：3回の勉強会の企画及び運営に集中する。

- (1) 1月の庭のホテルは盛況のうちに終了
- (2) ホテル見学会(キャピトルホテル東急)
- (3) デスティネーションセミナーは検討中

会員部：会員親睦会は6月25日に予定している。新入会員獲得10名を目標に活動していく。

名古屋支部：名古屋支部では、4回の勉強会と毎月の例会を行う。施設見学は3月に就航する太平洋フェリーの内覧会、デスティネーションセミナーはネパールについて予定している。講演会は「中部の女性」と題して、検討中。

⑥ 2011年度予算案

配布書類にて説明があり、全員の承認を得た。

⑦ 新入会員4名による自己紹介

なお、安西美津子初代会長からは「新入会員を入れるには工夫が必要」というお話もいただいた。

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

毎日、目にする震災の報道に心が痛む日々がつづいております。

旅行なりわいを生業にしている私たちが、復興のために必要なこと、出来ることを真剣に考えております。がんばれ、日本！ 私たちも出来る限りの支援をしてみたいです。

JWTC会長 戸井川裕美子

※日本旅行業協会へ会費の一部をお見舞金としてお送りしました。

☆2011年度運営委員会役員☆

会 長	戸井川裕美子 (株)ピコ	(留任)
副 会 長	田 辺 典 子 (株)京王プラザホテル	(留任)
副 会 長	坂 本 友 理 (株)ジェイティービー能力開発	(新任)
会計監査	西鳥羽 洋子 (株)ウェンズ	(留任)
総務部長	近藤 多津子 エムオーツーリスト(株)	(新任)
広報部長	坂 本 友 理 (株)ジェイティービー能力開発	(留任/ 副会長兼務)
事業部長	千葉 千枝子 (有)千葉千枝子事務所	(新任)
会員部長	田邊 真利子 エジプト大使館エジプト学・観光局	(新任)
名古屋支部長	田中 美智子 名鉄観光サービス(株)	(新任)

◆新任役員挨拶

◎副会長 坂本友理 (株)ジェイティービー能力開発

今年度より田辺さんとともに、副会長をさせていただきます。

広報部長との兼務で、私にとってチャレンジャーな年となります。広報にとどまらず視野を広げ、他部の皆様とのネットワークをもっと深くし、戸井川会長、田辺副会長の足手まといにならないよう役割を担っていききたいと思います。また運営委員会のメンバーも変わりましたので、あらたなJWTCの活動が円滑にできるように、これまでの経験を生かしていきたいと思ひます。皆様、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。



◎総務部長 近藤多津子 エムオーツーリスト(株)

2006年の入会以来、さまざまな活動を通じて多くの方々とお話をさせていただき、いろいろと相談のできる仲間が増え、情報交換の場を持つたことがかけがえのない財産となりました。この経験を生かしてゆけたらと、甚だ力不足ではございますが、総務部長を拝



命いたしました。

総務部の役割は、「総会の準備と設営」と「運営委員会の設営」など、会全体の運営に深く関わっている表の顔と、「予算・会計管理」「年会費の取り立て」いえ、「督促」というベニスの商人のような裏の顔があります。会の運営を支える重要な役割を果たしながら、部の活動は和やかで楽しいものにしていききたいと思ひます。

◎事業部長 千葉千枝子 (有)千葉千枝子事務所

このたび事業部長に着任しました、観光ジャーナリストの千葉千枝子です。

新生・事業部は、これまで培ってまいりましたチームワーク力を武器に、会員相互の学びの場や啓発の機会を創出して、JWTCの会員の皆様より高いモチベーションを維持できますよう専心します。また、社会貢献に通ずる取り組み、広報性、事業性のあるセミナー展開も今後の視野に盛り込めたらと考えております。どうぞよろしくご支援のほどお願ひいたします。



◎会員部長 田邊真利子

エジプト大使館エジプト学・観光局

会員部部長として入会依頼活動をしてきましたが、この度会員部部長を拝しました。会員部の役割の一つには新入会員獲得があります。現在の会員数は最盛期の半分ほどのおよそ70名です。業界での良識ある認知度、発言力を高めていきたいと考えています。そのためには会員数を増やすことが肝要かと思ひます。すぐに結果を出すことは容易ではありません。会員部はもちろんです、年間目標10名を達成できるように会員一人ひとりのご協力お願ひいたします。



◎名古屋支部長 田中美智子 名鉄観光サービス(株)

昨年のJWTC創立30周年の年に、名古屋支部も諸先輩方のご尽力により20周年を迎えました。

名古屋支部は厳しい社会情勢もあり現在の会員数は総勢10名と少人数ですが、活動を通じて新しい交流の創造と、親睦を深めることで更に会員同士の結束を強くし、活動の輪を広げていきたいと思ひます。

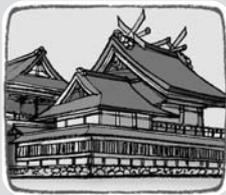


Relay Essay ご縁に感謝して

15

草次昌子
(株)リッチトラベル

私にとって13年間続けている大切なツアーがある。それは出雲大社参拝ツアーだ。出雲大社と言えば縁結びの神様。最近ではテレビや雑誌で「パワースポット」「スピリチュアル」の特集で取り上げられ、若い人の参拝も増えている。「縁結び」を辞書で調べてみると、「男女の縁を結ぶこと。結婚の縁組」と書かれているが、男女の間だけでなく、人と人のご縁を結んでくれると、私はこのツアーに携わり感じている。



毎年の旅行の始まりは、「出雲さんのおかげで、1年無事に過ぎ、今年も皆さんと、来ることができました」と、感謝から始まる。そうは言っても、まずは楽しくおしゃべりができ、そこにおいしい食べ物、できれば温泉がいいね。せっかくだから観光も、となる。そして欲張りなくせに、寒いのイヤ、歩くのイヤだと、私を悩ませる。「スピリチュアル」のひとつかけらもない、普通のおばさんたちの旅行である。

実は、このグループに私の両親が含まれている。両親がいたことから、この仕事をするようになったのだ。最近では女性陣に交じって、父親が唯一の男性となってきた。13年間、仕事ではあるけれど、年1度は一緒に旅行をするという機会をもらっているということになる。昨年は、姉妹会と称し、高齢の叔母たちが、

杖や歩行補助車を持つての参加となり、グループの3分の1は親族という構成となった。ゆっくりの旅行がさらにゆっくりとなり、他のお客様には叔母たちを待ってもらわなければならなかった。しかし、叔母たちが元気で、姉妹そろって旅行ができることを共に喜んでくれ、和やかに旅行をすることができた。

旅行に出かける時は、家族には快く送り出してもらいたいと願うのは誰も同じである。そして朝晩と忙しい中、送迎を誰かに頼まなくてははいけない。母曰く、「年寄りにもいろいろあって、簡単には出かけられないのよ」と、自由気ままな母の言葉には説得力が無いが、それぞれに事情がある中、「今年はどこに連れて行ってもらえるか楽しみ」と参加してくれる。両親がいることでのひき目としても、苦労がすべて喜びに変わり、自分の存在価値を見出すことができる瞬間だ。これは、「パワースポット・スピリチュアル」のおかげなのかもしれない。などと思うのは、私が相当の楽天主的な証拠だろう。いつかはこのツアーの最後が来ることと思うが、それまではご縁に感謝してお伴したいと願っている。



2009年 出雲大社参拝ツアーにて
前右列端が草次さん

皆さんのご縁にも感謝して、名古屋支部の木下弓子さんへリレーエッセイをつなげたいと思ひます。

「庭のホテル東京」見学会とパネルディスカッション

2011年1月25日(火) 庭の東京ホテルにて



■ 『庭のホテル東京』見学会

今回は昭和初期に旅館を開業、その後、東京グリーンホテル水道橋を新築し営業、そして2009年「庭のホテル東京」として生まれ変わった日本のホテルの見学会だ。『ミシュランガイド東京・横浜・鎌倉2011』ホテル部門において2年連続「快適なホテル」として2パビリオンの評価を得たと聞き、楽しみにホテルに向かった。

水道橋駅から徒歩3分、大通りから1本奥に入った静かなところに立つ「庭のホテル東京」は、外観からしてどこか凛とした「和」のたたずまい、ロビーに入ると天井まであるガラスに和紙を貼った大きな行灯が目に飛び込んできた。経営者である木下社長自ら出迎えてくださり、ホテル内を案内していただく。

客室フロアには「行灯風」の和風照明が置かれ、なんとも落ち着いた温かい雰囲気が良い。客室は、決して広いとは言えないが、ゆったりとしたバスルーム、シルクロード綿のタオルなど気持ちの良いアメニティ、南部鉄の急須、時計やアクセサリなどを置くトレイ、寝像の悪い方用(?)のパジャマなどなど、細やかな配慮がなされている。大きめな窓は障子にすることによりやわらかな光を採りいれられ、ホテルのコンセプト「美しいモダンな和」の雰囲気が感じられる。

リフレッシュラウンジでは、自動販売機で好きな飲み物を買って無料のマッサージチェアで寛ぐもよし、毎日運動したい人にはワークアウトルームでエクササイズマシンが無料で利用できる。コインランドリーもあるので長期滞在者にも便利。



木下社長



大きな行灯が和の雰囲気を醸し出すロビー

ものやサービスを詰め込み過ぎず、しかし快適な滞在に必要なと思われるものは揃えて、お客様一人ひとりに真心のあるパーソナルサービスを心がけている。最近では海外からのお客様も増えている、と木下氏。

中庭は大きな石がきれいに整えられた砂を敷き詰めた庭に、冬の雑木林がライトに浮かび上がり、まさしく庭のホテルである。その庭を眺められる瓦葺の屋根の日本料理レストラン「縁(ゆくり)」。ゆくりとは古語で「人の縁」を意味するそうだ。今回はぜひ隠れ家的な雰囲気のある「縁」で大事な人と会食しようと思いつきながら、今回はグリル&バー「流」で、参加の皆さんとワイン&ディナーコースの楽しいひとときを過ごした。

高山澄子 ハイアットホテルズアンドリゾーツ

■ パネルディスカッション ～私の考える旅行業界の未来像～



田島会員

「会員の仕事を知る～私の考える旅行業界の未来像～」をテーマに、田島和江会員、狩野知保会員、星恵美子会員をパネリストとして迎え、三好一美会員のモデレータにより「Next Door」(未来へつなぐ旅のしあわせ)の実現に向けて各社がどう取り組んでいるか等々、ディスカッションが進められました。



狩野会員

ターゲット層を明確に固定し、自社の特徴を迷わず顧客に伝えていること、「売る」ではなく「沿って導く」を営業の基本としていること、旅を通して人を楽しませることに注力していることが共通点であり、旅行業界はサービス業であるという原点を心の中心に据えている姿勢がひしひしと伝わってきました。



星会員

顧客本意でものごとを考え、顧客に楽しみと感動を与え、気付きを手伝う。顧客と同じ目線で対応し、旅のよさを伝える。ディスカッション中、三方からは自社の自慢は一つもなく、顧客を第一に考える真摯さが言葉を変え何度も発せられていたのが印象的でした。

いつしかオーディエンスである私たちも壇上の



三方に引き込まれ、「彼らの会社に旅行をプロデュースしてもらったら面白いだろうな」と、ついファン(応援)モードに入っていました。魅力的な旅を売る役者も例外なく魅力的な人たちなんだと納得した時間でした。

伊藤聡子 (株)ピコ

● 参加された方のご感想

パネラーの皆様が、ご自分の旅行業像、旅像、そして人生観をしっかりと持ち、ぶれることなくお話をされていました。過渡期にある旅行業界の中では、こうした女性の“しなやかさ”と“したたかさ”が生き残りのキーワードになってくるのではないかと感じました。

■第1回勉強会■

「JWTC 創立30周年記念講演」報告会

日時：2011年1月22日（土）

会場：知多 日間賀島 「すず屋海游亭」

昨年11月17日に行われた「JWTC創立30周年記念講演会及びパーティー」の報告会を開催いたしました。

（株）ジェイティーピー相談役の船山龍二氏「旅のしあわせ」のテーマの講演・パーティーの様子ビデオを鑑賞し、当日出席した前支部長の草次さんより報告を受けました。講師の方をはじめ、ご来賓の方々と見ると、「日本旅行業女性の会」を今まで、そして現在活動をしている会員の努力・実績が表れているのではないかと思います。

勉強会終了後は、名古屋支部10周年や名古屋支部初期の思い出を語りながらの新年会、日間賀島のフグ料理も堪能いたしました。

暖かい日差しの中、小旅行を楽しみながらの勉強会・新年会となりました。



■第2回勉強会■

「ニューいしかり」内覧会

日時：2011年3月10日（木）

会場：太平洋フェリー「ニューいしかり」

名古屋港フェリーターミナルにて開催された、今年40周年を迎える太平洋フェリーの新造船「ニューいしかり」の内覧会に出席しました。

「安全に運航できる日本一のクルーズフェリー」を目指し1年4か月をかけて建造されたそうで、船内は白と青を基調に「エーゲ海の輝き」をコンセプトとし、非常に明るい船内でした。また、近年の顧客志向により在来船に比べ個室数を倍増された設計になっており、女性専用部屋もあり安心な船旅が用意されています。

豪華客船乗船の経験があってもフェリーは随分前の乗船経験しかないという参加メンバーは、フェリーのイメージの先入観を覆す、豪華客船にもひけをとらない優雅な施設・空間に驚きの連発でした。

今回は東京から戸井川会長、田辺副会長にもご参加いただき、船内での昼食会、場所を移して名古屋マリオットホテルでの懇親会と、楽しいひと時を過ごしました。



三宅博子 日通旅行

★新入会員紹介★

会員 No.427

増田 紀子

東京海上日動火災保険



この度はJWTCへの入会の機会をいただき、誠にありがとうございます。

フライングで勉強会等に参加させていただいておりましたが、いつも皆様から「元気」をいただいております。

楽しみながら参加させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会員 No.428

毛利 純子

ミキ・ツリスト



JWTCに入会させていただきありがとうございます。

旅行者の皆様最高の楽しみを味わっていただきたいという想いでオペレーター一筋「感動」「安全」「安心」をキーワードとして走り続けて参りました。

JWTCの様々な行事の中で、アンテナを高くし、視野を広げ、更に旅作りに貢献して参ります。よろしくお願ひいたします。

会員 No.429

花本 英実

ヴァカンス ドゥ レーヴ



大手旅行社にツアーコンダクターとして18年勤務した後、2009年、旅行会社（株）ヴァカンス ドゥ レーヴを設立。弊社ではお客様一人一人のご希望に合わせ、心から満足していただける素敵な旅作りを目指しております。

この度JWTCに入会させていただき、会員の皆さま方と交流を深め、女性ならではのセンスを旅にとりいれていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。



◆ 運営委員会だより ◆

□総務部□

- 2010年度決算・2011年度予算
- 総会の最終確認

□会員部□

- 会員増強キャンペーンを実施する

□広報部□

- ニュースレターの校正方法について確認

□事業部□

- 第1回勉強会報告



2011年3月11日午後2時46分 東日本大震災。その時、私は帰社途中の路上。大きな揺れ、クロスタワーがゆらゆら揺れて、倒れて来そう。持っていた3台のうちつながったのはPHSだけ。会社の入っているビルの管理事務所と自宅に電話をし、無事を確認。電車は動きそうもないので、水とパンを買って歩き始めた。4時間。その日は会社を片づけて、地下鉄が動いてから帰宅。翌朝、お客様対応のために、不眠のまま仕事。

放送される映像を見て、被災地に対してできることを探した。小さくても会社を経営している法人としては、お父さんみたいな責任感を持って「働こう」と考えるようになった。仕事は節電しながら あくまでも普通にいつも通り。私たちの仕事は、夢を扱っているのだから、ゆったりと。

しかし、弱い個人としては、一人になると泣いた。テレビやラジオのニュースを信用できなくなって、facebookやtwitter、海外からも情報をかき集めて、どんどん不安になっていく自分に気が付いた。いろんな後悔もした。自分に子供はいないけれど、大人たち全員の子供たちに対する責任のような「申し訳ない」気持ちにもなった。

だけど、私たちは確かに、今、生きている。微力だけど、社会に参加して、一生懸命には生きられる。

JWTC 31年目の時間は、ちゃんと動いている。上を向いて歩こう〜♪ (E. H)